

No.	調査項目	テスト 正答率	教師の意識		中学と 高校の 差
			中学校	高校	
32 (1)	語句を使いわけて書く能力	89.3	68.5	50.0	18.5
32 (2)	語句を適切に選択して書く能力	88.9	70.3	46.7	23.6
32 (3)	語句の照応を正しくして書く能力	8.8	72.1	47.8	24.3
33 (1)	きめられた字数で書く能力	64.4	68.5	48.7	19.8
35 (1)	文の成分の順序をくみだてる能力	37.8	68.5	49.8	18.7
35 (2)	段落ごとにまとめて文章をかき	84.4	72.7	46.9	25.8
37	表記に慣れきり符号を適切に使う	52.2	70.9	54.3	16.6
34	事実や意見を正確に書く能力		70.3	59.1	11.2
36	目的・必要に応じた形態で文章を書く		75.2	49.1	26.1
I	か く 計	60.83	70.8	50.3	
6	生活文を書く能力		62.0	63.8	-1.8
7	通信文を書く能力		56.0	61.6	-5.6
8	記録文を書く能力		55.3	58.8	-3.5
9	報告文を書く能力		57.3	63.1	-5.8
10	説明文を書く能力		56.7	60.8	-4.1
11	感想文を書く能力		61.3	62.0	-0.7
12	意見文を書く能力		62.0	64.3	-2.3
13	感想を書きあらわす能力		58.0	61.2	-3.2
II	か く 計		58.6	61.9	
17	文の形で話す能力		64.8	75.9	-11.1
18	適切な抑揚をつけて話す能力		61.2	80.5	-19.3
22	敬語を使いこなす能力		74.5	53.6	20.9
23	共通語を使いこなす能力		67.3	75.6	-8.3
38	正確にききとる能力		70.9	62.2	8.7
39	理解してきく能力		73.9	60.4	13.5
40	判断してきく能力		75.8	58.3	17.5
41	場面に応じて話す能力		72.7	53.0	19.7
42	目的に応じて話す能力		73.3	54.3	19.0
43	内容を適切にくみだして話す能力		72.7	60.4	12.3
I	き く・はなす 計		70.7	55.4	
14	あいさつの能力		58.7	52.7	6.0
15	応対の能力		56.6	55.3	1.3
16	会話の能力		58.7	64.0	5.3
17	話し合い・討議の能力		51.0	60.7	9.7

No.	調査項目	テスト 正答率	教師の意識		中学と 高校の 差
			中学校	高校	
18	報告・説明の能力		48.3	63.3	15.0
19	会議の能力		57.2	60.4	3.2
20	朗読の能力		57.2	65.9	8.7
II	き く・はなす 計		55.4	60.3	

② 各調査対象別の結果 (表10)

要因	平方和	自由度	不偏分散	分散比
水準	13086.1	4.000	3271.53	
誤差	109754.0	190.000	577.654	5.663
全体	122840.0	194.000		

(危険率1%で有意差あり。したがって各調査高校間の変動は偶然変動ではない。)

(表11)

要因	平方和	自由度	不偏分散	分散比
水準	233.561	4.000	58.3902	
誤差	6272.69	190.000	33.0141	1.769
全体	6506.25	194.000		

(有意差なし。)

(表12)

要因	平方和	自由度	不偏分散	分散比
水準	718.677	4.000	179.669	
誤差	11436.5	190.000	601.923	2.985
全体	12155.21	194.000		

(危険率5%で有意差あり。したがって各調査高校間の変動は偶然変動ではない。)

分散分析Ⅰ(以下分・Ⅰと言う。Ⅱ以下も同じ)と分・Ⅲに有意差が認められ、分・Ⅱについて有意差が認められない。つまり、学区はち